

令和3年度 第1回築上町総合教育会議 会議録

1 日 時 令和3年5月28日(金) 午後4時00分開会

2 場 所 築上町役場本庁3-2、3-3会議室

3 出席者

(構成員) 築上町長 新川 久三
教育委員会
委員 中村 ひろ子
委員 麥田 猛美
委員 折本 美佐子
委員 茅田 香
教育長 久保 ひろみ

(構成員以外の出席者)

元島総務課長、野正学校教育課長、高尾栄一生涯学習課参事
奥村生涯学習課長補佐、岡部学校教育係長、出口学校管理係長
宮内指導主事、小林指導主事

(傍聴者) 3名

※読みやすくするため、発言の趣旨を損なわない範囲で、重複表現、言い回しなどを整理しています。

4 会議内容

(1) 開会

午後4時00分開会

○学校教育課長(野正 修司君) 皆さん、こんにちは。定刻になりましたので、令和3年度第1回築上町総合教育会議を開会いたします。

まず、町長の挨拶をお願いいたします。

○町長（新川 久三君） 皆さん、こんにちは。令和3年度ということで、コロナ禍の中、今、緊急事態が宣言されておりますけれども、なかなかやっぱり教育行政も思うように行かないこともございますけれども、築上町の第1回の今日は令和3年度の総合教育会議に出席ありがとうございます。

後からまた事務局からも報告があると思いますけれど、中津街道の保存活用計画書というのが出来上がりまして、これによって本町の由緒ある歴史、これをやっぱりちゃんとした形で後世に残し、そしてまた、活用をしていくことが必要だろうと思っておりますし、この計画書に基づいて町のほうも社会教育の充実も図っていきたいと、このように思っておるところでございます。

それから、一応教育委員会、椎田中学校の建て替えと、（トウキ）の（ジッカイ）問題に備えるという意味で、国のほうに新しい時代の学びの環境整備、先導的開発事業ということで応募をしたら、築上町が一応順位が2番目の協議のほうを得て採択を、国の委託事業になりますので、約500万の一応委託費を頂けるといふうな形になって、議会の途中ではございますけれども、追加予算で補正を出したいと、このように考えておるところでございますし、これによって国のほうが先導的開発事業ということで、この築上町の当事業は相当な成果があれば、国もこれを全国にどんどん普及していただけると、こういうことになろうかと思うんで、今後この事業を調査計画という形になりますけれども、これを精いっぱいやっていただいて、これを実現していくという形にしなければならない、このように考えておるところでございますので、また皆さんと一緒に協議をしながら、いい支援体制をつくっていきたいと思っておるところでございます。

以上でございます。

○学校教育課長（野正 修司君） ありがとうございます。

続いて、3番の報告事項ですが、本日、4月1日の異動で奥村補佐が生涯学習課のほうに着任しておりますので、一言挨拶を。

○生涯学習課長補佐（奥村 一生君） 生涯学習課の課長補佐で、中央公民館の館長を兼務してま
す奥村です。よろしくお願いします。

○学校教育課長（野正 修司君） ありがとうございます。それと、本日、生涯学習課の古市課長と榎地域活動指導員が所要のため欠席となっておりますので報告させていただきます。

3番の報告事項です。

まず、学校教育の取組についてということで、私から少しお話をさしていただきたいと思いま
す。

先ほど町長の挨拶の中にもございましたが、国の文科省の新しい時代の学びの環境整備先導的
開発事業という事業への応募をしましたところ、採択されましたので、その取組について若干
お話をさしていただきたいと思えます。

教育委員会では、町内の児童・生徒の減少に伴い、今後の築上町の学校をどうしていくかという事で教育委員会でも議論をいたしましたし、総合教育会議の中でも議論をさせていただいてきたところがございます。そうしたところで、先ほどの文科省の事業があるということで、今、計画が上がっている椎田中学校の建て替え、八津田小学校が終わった次には、椎田中学校が耐震の強度がないということで、以前より椎田中学校は次の建て替えの予定になっております。そうしたところ、この申込みについていろいろ検討した結果、椎田小学校もかなり施設がやはり老朽化してるとということで、教育委員会の中で議論をしていただいております小中一貫の学校を、そちらを取り組もうじゃないか、また、その学校の中にコミュニティーセンター的な機能も持たしたホール、それから学校図書館、それも一般にも公開できるような、学校と住民と一緒に利用できるような、まあ本格的な図書館ではございませんが、学校の図書館を民間にも利用できるようなことも考えて、小・中・地域コミュニティー一体型設置事業ということで申込みをしたところがございます。

それから、まず目的を読まさせていただきます。

椎田中学校区の人口動態を踏まえ、小中一貫学校を設置し、将来的に小学校の統合を見据えた効果的な施設環境の整備のために基本計画を作成し、設計等を企画していくということが目的となっておりますので、事業期間としましては、今後、文科省と町とで委託契約を結びます。それで、令和4年の3月までに基本計画を策定するという事業でございますので、これについてはコンサル等も関わっていただいて、ほかに大学の先生、地域住民の代表の方、校区のですね。椎田中学校区の地域の住民の代表の方数名を出していただいて、それから、校長代表、PTAの代表等も委員の中に交えて、その計画について一緒に考えていきたいというところがございます。

お手元にカラーの写真というか資料があると思いますが、これがたたき台といいますか、これに沿って協議会を立ち上げて、協議会の中で検討をしていきたいということでございますので、この絵が一番分かりやすいかなと思っております。

それで、この基本計画ができれば、それからまた、次に、実施計画等のいろんな次に進んでいこうかと思うんですけれども、まずは、この基本計画ですね。これを立てて、椎田中学校の建て替えに間に合うような形で、そういう椎田小との小中一貫校の基本計画ができればいいかと、そういうことでこの計画を推進していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

では、宮内先生、補足説明があれば。

○指導主事（宮内 智久君） 今、課長のほうから説明がありましたけれども、イメージ的に捉えていただければと思いますので、そのイメージについてお話をさせていただきたいと思っております。

文科省のこの募集に関しましては、やはりGIGAスクールとWi-Fiということ、それから、要は、人口減少に伴う小学校・中学校の在り方はどうしたらいいのか、そういった面を総合的に含めた中で、新しい令和の時代にふさわしい学校をどんなふうになればいいのか。もう日本中が考えている、もう大都市以外はもう全て同じような状況であるという、人口はものすごく減ってきている、そういうような状況の中で、どのような学校があればいいのかなといったところで募集をかけたところです。その中で、審査結果にもありますけれども、学校だけではない、これからは。地域の教育の文化センター、コミュニティーの中心になるようなものでなくて、今後はやっていけないだろうなということで提案させていただいております。特に椎田小学校と椎田中学校、まあ椎田中学校は建て直し当然なんですけど、椎田小学校においても、もう四、五年しか差がありません。さっき言ったGIGAスクールをしてるんですが、対応ができない。電源がないんです。十分な電源が足りない。コンセントも足りないような状況の中で、どうしなくちゃいけないかと思ったら、個別に対応をしてくると、やはり幾ら築上町でも、それを対応できない。一つ一つ建てていくわけにはいかない。もう一緒に合併する。そして、そういった中で、先ほど申しましたように、地域の文化センター的役割にするためには、やはり中央公民館、もう今もかなり老朽、すいません、老朽化しております。そういったのを含めた中で、地域の方が集まってきたら、その中で、地域の人たちと子どもたちが一緒に勉強するような空間をつくっていく。そういう人が集まる空間をつくっていくことによって、また人が集まってくるということで、ここが中心的役割をはたせれば、さらに発達していくんではないかなという考え方なんです。例えば、公民館的役割を持ってくれば、当然その中にいろんな各教室があります。絵画教室。そうすると、子どもたちはどんな絵を描いたらいいのかといったときに、来てもらうんじゃない。子どもたちが下りてくる。その絵画教室に行って習う。それから、習字・書道の教室がありますね。そういったときも、今は学校いろいろ来ていただいています。だから、そういった中でいろいろ手を打って、もう横にいればすぐ行ってできる。そういうような、それから調理実習。もう家庭科室、あんな狭いところじゃなく、もっと広いところで、最新の設備で、それのもうクッキーとか作る上手な方がいますよね。そういった料理教室と合わせて、家庭科と一緒に接して勉強できるとか。そうすると、地域のつながりもできますし、子どもとのコミュニケーションが図れないという方も、そういう中で図れていくんじゃないかと。また、最新のプログラミング教育とか、国際理解教育とか、そういうメディアを、最新のメディアをつくって、海外との交流も図っていくような、子どもたちもこれからは必要である。こういう田舎でもあっても、今、NTTでありますね、授業が。ぱっとしたら、横に壁に絵が映って、遠隔ちゅう。そういうこともいろんな、町内には小さな学校もありますので、そういったとこで交流するような設備もあれば、十分なっていくんではないかと。ということで考えております。

具体的にイメージしていただくには、ソピアがありますね。ソピア。ソピア築城。あれに、あれが1階、あの上に、2階へ小学校、3階が中学校というようなイメージをしていただければいいかなと。もう少しソピアをもうちょっと大きく、もうちょっと設備のいい、あとはちょっと、調理室が狭いですけど、もっと、ああいうもっと大きなものを造った中で、1階が公民館的なところ、2階が小学校、3階が中学校、そして、1階は共有ですので、上にはやっぱり上がれない。セキュリティの問題です。逆に、上から下は下りられるような考えでいけば、地域の本当に文化センターとしての役割が果たせるんじゃないかなと考えて、提案させていただきました。

あと、そういった意味での評価の個々のコメント等を読んでいただければ、今のお話が大体分かってくるのではないかなと思いますので、よろしくをお願いします。

以上です。

○学校教育課長（野正 修司君） ありがとうございます。学校教育の取組ということで報告させていただきましたので、その件について御質問等があればお願いいたします。はい、どうぞ。

○委員（折本 美佐子君） 申請についてですが、これに、文章にあるように、5月6日に提出して、もう許可が下りたんですか。

○学校教育課長（野正 修司君） はい。5月24日付でございました。（発言する者あり）

○委員（折本 美佐子君） そうなんですか。ありがとうございます。すばらしいです。

もう一つ。

○学校教育課長（野正 修司君） はい、どうぞ。

○委員（折本 美佐子君） どれぐらいの応募があったとかいうのは分かるんですか。

○学校教育課長（野正 修司君） 最初の要綱では、7件程度を採用するということになってたんですが、結果を見ると、4か所からの応募があったようです。それで、さっき町長が言いましたけど、2番目という、点数から言えばですね。それで採択されたということでございます。

○委員（折本 美佐子君） 分かりました。

○指導主事（宮内 智久君） 期間としては、3週間しかなかったと。しかも、この結果を出すのが、基本的にはもう2月なんです。そういった中で、もう対応できる自治体というのとはなかったと思うんですよ、ほとんど。本音のところですね。それなりの予算、これだけの計画をたてて。それはもう事前にこういう話があったので、たてやすかったというのがありますので、多分間に合わないでしょう。

○委員（折本 美佐子君） そうですね。でも、すばらしいですね。ありがとうございます。

○学校教育課長（野正 修司君） ほかにございましたらお願いします。よろしいでしょうか。また、この後、町長との議論の中でも、またお話しください。

そしたら、続いて、社会教育のほうで取組について。

- 町長（新川 久三君） ちょっといい。
- 学校教育課長（野正 修司君） はい。
- 町長（新川 久三君） 2ページ目のグラフがね、築城地区で35人、椎田で265人って、ちょっと意味が分からない。（「令和28年って」と呼ぶ者あり）うん。令和28年。
- 学校教育課長（野正 修司君） このままの流れで行くと、予想ではその程度の人数になるであろうという。
- 町長（新川 久三君） 築城地区で35人。
- 指導主事（小林 正尚君） そうです。平成の18年から令和8年までの全校生徒の変化のままで行くと、（「ちょっとこれ分かりづらい」と呼ぶ者あり）こうにはならないと思うんですが、これに近い状況に、この傾きから考えると、なる可能性はある。
- 教育長（久保 ひろみ君） これを生かして、この傾き……。
- 町長（新川 久三君） この推計、この減り具合をしたら、どっかで下どまりはあるやろね。
- 指導主事（小林 正尚君） 下どまりはあると思うんですけど。
- 町長（新川 久三君） いや、なるのかなと思って。これをそのまま素直に減らしていったら35人になると。
- 指導主事（小林 正尚君） はい。
- 町長（新川 久三君） これはならんやろうけど、そういう結果ちゅうことやね。分かりました。
- 学校教育課長（野正 修司君） それでは、社会教育、生涯学習課のほうで報告をお願いします。
- 生涯学習課参事（高尾 栄一君） 生涯学習課の高尾です。文化財のほうでは、本年度、大きな事業が2つありまして、本年度、旧蔵内邸の玄関棟の屋根の全面改修を行います。6月から来年3月まで約10か月行って、また、来年度から修理等も入っております。それと、防衛省の事業で、町内に約60か所、文化財や地域の歴史の説明看板を5か年計画で設置します。これについて、各学校の校庭とか、そういったものも対象に入れて、地域の歴史が看板でいつでも読めるような形を取っていきたいと思います。今年度の大きな事業は2つです。
- 以上です。
- 学校教育課長（野正 修司君） ありがとうございます。ただいまの生涯学習課の報告につきまして、御質問等があればお願いいたします。よろしいでしょうか。
- 委員（折本 美佐子君） 屋根の改修ということで、休館になるんですか。
- 生涯学習課参事（高尾 栄一君） いえ。今のところは、通常開館の中で工事は進めていきます。
- 委員（折本 美佐子君） そうなんですな。わかりました。
- 学校教育課長（野正 修司君） ほかにございましたらお願いします。よろしいでしょうか。
- 生涯学習課長補佐（奥村 一生君） 生涯学習課奥村です。公民館の事業になりますが、町民大

学をきづきの杜と名前を変えて、講座の見直しを行って、5月に募集を行いました。延べ144名の応募があり、5月27日に予定していた開講式ができませんでしたが、6月よりそれぞれの講座を開催していきたいと思います。

○学校教育課長（野正 修司君） 今の報告について御質問等はありませんでしょうか。よろしいでしょうか。

○教育長（久保 ひろみ君）今のきづきの杜については、築上町を知ろう講座とか、それから、スマホの達人講座とか、新しい講座も入れておまして、かなり多くの応募がありました。当初は人数が超過してたんですけど、全員受講できるように調整してもらったんですね。

○生涯学習課長補佐（奥村 一生君） スマホの達人講座なんですけれども、基本・入門と活用・応用としてまして、それぞれ10人、10人の募集人員でしたんですけれども、基本・入門のほうには27名で、活用・応用のほうには16名の方が来られたので、講座を2講座ずつに増やしてしております。

○学校教育課長（野正 修司君） よろしいですかね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○学校教育課長（野正 修司君） それでは、4番の意見交換に入ります。

ここからは、築上町の教育行政について、町長が議長となって進行をお願いしたいと思いますので、よろしくをお願いします。

○町長（新川 久三君） じゃあ、何かございますかね。一応提案とか、事務局のほうに質問とかというのがあれば挙手を。傍聴人は手を挙げないように。（笑声）何かないですか。

○委員（中村 ひろ子君） 一つ確認してよろしいですか。

○町長（新川 久三君） はい、どうぞ。

○委員（中村 ひろ子君） 昨年までは第1回目に築上町教育行政案っていうのが、つづりが出たと思うんですね。今年からもうあれが、今年も同じ……。

○教育長（久保 ひろみ君） 去年大きく改定して、そのまんまもう。

○学校教育課長（野正 修司君） 教育委員会にかけませんでしたかね。

○教育長（久保 ひろみ君） 教育委員会にかけた。

○学校教育課長（野正 修司君） かけたと思います。

○委員（中村 ひろ子君） で、そのまんまそれを行うっていうことでいいんですよね。

○学校教育課長（野正 修司君） はい。3月の教育委員会にかけると思います。

○教育長（久保 ひろみ君） 今年はちょっと早くしてもらって。

○町長（新川 久三君） 僕は関係ないです。（笑声）そういうことで、この総合会議に係る予算とか、そういう分が出てるんですね。予算とか、そういうのがやっぱり一番大事になってくる

だろうし、あとは、教育委員会が主体的にやってもらうというのが実態でございますので、予算は後々、ある程度皆様方の実効性のある予算であればつけてもらいたいと、そのように思っております。

それと、ちょっとコロナの関係で、私からちょっと話したいと思います。

一応学校、保育園とか、そういう子どもに接する65歳未満の、接種時期になったら、ちょっと優先的にやっけていこうかなと、このように考えています。万が一、子どもが予防接種できないという形になっておりますし、そういうことで、今、65歳以上の高齢者のワクチン接種の、一応75歳までは一応接種券の配布が終わって、74歳から65歳までは来週中には多分接種券と、それぞれ町が指定した期日の案内を送付して、そして、基本的には町が指定した期日どおりであれば、一応丸つけてもらう。それから、日程を変えてもらいたいという方には日程を変えていただくに丸。それから、今回は見合わせる、考え中という項目。それで、全くの接種しないとか、他で接種をした人は接種しないに丸をつけていただくということで、返信はがきを送ってまいります。今まで75歳以上の方は、もうほとんどもう役場の指定期日どおりでいいよというふうな形で返信はがきが返っておる。若干近くの人と一緒にいきたいんで、日にちを変えてもらえないかと、そういう一つの期日変更もありますけれども、そういうことで、今度は一応余った枠は若干取っておりますんで、その分を一応変更分に充てていくというふうなことで、2番と3番には役場から折り返し連絡調整をすると、このような、まあ電話で一番最初混乱したんですけどね。そういうことで、そして、なおかつ余れば、さっき言った学校関係者、それから保育園関係者、幼稚園ですね。それから、できれば子どもを預かる社会福祉のいわゆる法人がありますが、そこに打診をしながら、接種の希望があれば先に行おうかということで、今、一応余ったワクチンを先にもうそういう形で打っけていこうと、していこうというか、案内していこうということですね。そして、なおかつ65歳未満になったときは、いわゆる優先的にやっけていこうかなと、このような取組でいっとるんで、学校関係者が多分早くなると思います。学校関係の先生、それから、町の職員もおりますけど、そういう形になろうかと思っております。今の件で何か質問があれば、いいですか。分かりましたかね。

○教育長（久保 ひろみ君） いいですかね、私のほうから。

○町長（新川 久三君） はい、どうぞ。

○教育長（久保 ひろみ君） すいません。先ほど新しい時代の学びの環境整備・先導的開発事業の企画提案をしたところ、採択されたというお話をしたところでございます。これも先ほど課長、それから、指導主事のほうから説明がありましたが、本当に募集期間は短こうございました。その中で提案できた多分自治体はあまりなかったのではないだろうかというところがあるんですが、それは、これまで教育委員の皆様方が十分協議して、あらかたの前回の総合教育会議の中でも話

し合っていました。新しい時代の築上町の教育の在り方ってところが、そもそもの基盤となったものがありましたので、今回そういう形をつくることができました。前回の、こういうようなイメージ図を前回配った中の椎田地区の部分を実際にこうやって事業づくりをしていくという事業でございますので、まだまだこれから協議をしていくそのための案として、こういう地域一体型の学校、まあ町長の御指導もあって、全校で今、コミュニティースクールができています。本当、学校が地域ぐるみで学校を支えていただいている、ただ、もう人数が減っていく中で、やはり地域が元気がなくなるといことがあってはならないというところで、地域の力も高めていく、借りていくというようなところで、今回、新しい形の学校づくり、本当にちょっと新しい形でつくっていきたいと思っていますので、そういう点から、委員さんたちから今回出したものはちょっと初めて見ていただくことになろうかと思っておりますので、率直な御意見いただければ、これからの協議の中にうたっていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

○町長（新川 久三君） はい、どうぞ。

○委員（折本 美佐子君） 折本です。質問ですが、採択されたというのは、これですね。これからいろいろ具体的なことは始まっていくんだと思うんですけども、これだと椎田小学校と椎田中学校の小中一貫になっているんですが、例えば、小原小とか、今、小規模校になっている西角田とか、そういうところも統合した形で椎田の小学校と椎田中の小中一貫とかなっても、これは大丈夫なんですかね。

○教育長（久保 ひろみ君） もちろんこれはあくまで小・中でありましてけれども、そのところは一緒になるとかいう、もうこの資料はあくまで小・中、椎田小・中でいくんですけども、これも分かるように、校区とかの問題もありますので、その辺はまた協議をしていくことになろうかというふうに思っています。

○委員（折本美佐子君） それは、国からのお金は500万ですかね、は頂けるといことなんですかね。

○教育長（久保 ひろみ君） それは、あくまでビジョンづくりなんです。

○委員（折本美佐子君） ビジョンづくりということ。

○教育長（久保 ひろみ君） はい。基本計画をつくるというところになりますので、それを基に、具体的に今度は実施計画っていうところになっていきますので、大きなビジョンをつくっていきうっていうふうに考えていただいたらいいかなというふうに思っています。

○委員（折本美佐子君） 分かりました。

○指導主事（宮内 智久君） いいですか。あくまでももう、最初から言っていますが、椎田小学校と椎田中学校の一体型なんですね。残りの学校につきましては、さっき言った遠隔授業等をし

ながらで、いずれはですよ。いずれ、もうそれは何年になるのかは分かりませんが、合併しても対応できる校舎とはどういうものなのかということを考えてくださいという、これが事業なんです。今、椎田小学校でさえ1クラスなんです。1クラスの学級が、今、6学級のうち2つもあります。今の人口を考えていくと、当然もうよその学校が入ってきても、2クラスを超えることはないだろう。だから、そういった中で教室的な余裕も含めたところ、それから、スクールバスとか、いろいろなことも考えなくちゃいけません。そういったものを未来を考えた構想になってるかということなんです。今だけじゃなくて、今だけだと、いっぱいいろんな立派な校舎があります。でも、小さな地方の町において今後どう生き残っていくか、そして、残ってもらって、築上町をどう育てていく、子どもたちをどうつくっていくか、そういうビジョンを示してくださいということで、この企画があるわけですので、いろいろと先ほどいろんな意見をいただけたら、また考えていきたい。これはコンセプトシートということで、今、私たちが提案した分を、つまり、まとめてくれてやって作ったものです。ですので、あくまでもコンセプトで、皆さんのこれからこういうものを入れていく、こういうものは要らないんじゃないかと、そういったことを考えて、ここにいろんな御意見をいただければと思います。そういうのが、この事業です。それをまた次は具体化していくのが、また別に令和4年度から。

○町長（新川 久三君） はい、どうぞ。

○委員（中村 ひろ子君） すばらしい何か構想だなんていうふうに、私、今、見させていただきまして、この構想は構想で終わらないで、これが実現するかどうかっていうのが、まず第一かなというふうに思ったんですけども、私は考え方もコミュニティーから、それから、学校、行政が一緒になってとって、まだ統合という話ではなくて、小学校・中学校を同じ場所に移動するって、いずれまた、その後、統合にもっていければなっていう考え方だと思うんですけども、やはりこういう、何ていうのかな、発想っていうのがすばらしいなっていうふうに思ったんですね。やっぱり築上町もすごい人口も減ってますし、子どもの数も減ってます。町の特徴というか、特色はやはりつくらなければいけないと思うんですね。そのためには、築上町に住んでくれる方を増やしていかなければいけないかなっていうふうに思います。まず、親が考えるのは、やはりこの町に住むか住まないかを考えるときには、やっぱり子どもの教育ではないかなと思います。それを見たときに、こういう特色ある学校づくりをしていくことで、選択肢の一つにはなっていくのかな。築上町の売りとしてホームページ等へ上げていただいて、特色の一つとして、ここの住民を少しでも増やしてほしいなっていうふうに思いますので、この構想はすばらしいなというふうに感じた計画でした。

○町長（新川 久三君） ちょっと私も、一応申請したのが私の名前になっておるということで、ちょっと。一応ビジョンをつくと。ビジョンをついたら、このビジョンをやっぱり地域に

築上町」っていうような文言だったんですよ。それを先週の土曜日、変わったのを初めて私聞いたので、今これを見て、相当タイムリーだなと思って驚きました。

○町長（新川 久三君） じゃあ、CROSS FMでこういうのを宣伝したらいい。

○委員（折本 美佐子君） そうですね。

以上です。

○町長（新川 久三君） 茅田さんは何かない。

○委員（茅田 香君） いや、本当すばらしいビジョンが出来上がってて、びっくりしました。あと、小規模校。やっぱり小規模校の学校は、今後の課題というか、交流、バスでやっぱ移動して、交流で使用する……。全部じゃないんですよ。やっぱ教科教科で、この教科は合同ですとか、そういう感じなんでしょうか。

○指導主事（宮内 智久君） 内容ができましたらですね。やはり中学校が基になると思います。椎田中学校。まあ名称があるでしょうけども、いずれ一緒になるわけですので、そういった中で合同で交流をしていく。体育とか、いろんな行事ですね。そういったものは一緒にやっていく。今も実際、小原小学校、西角田小学校、葛城小学校は、去年から少しずつそういう交流をやってました。まあコロナ禍ですので十分なことはできませんでしたが、そういった子どもたちも一緒に、今度はできたときに、中学校になったら、椎田小と椎田中学校がじゃないですよ、やはり。よそからいろいろな学校が来ますの。それから、小学校の段階では、カリキュラムを大体同じにして、その差が、中学校に入ったときに差がないようには必ずしていきます。そういうビジョンです。それが小中一体型、一貫校という基本になってきますので、もうとにかく、いつになるかは分かりませんが、そういった子どもたちがいつでも来れるように、そういった下地をつくっていく。バスでも移動できますよとかですね。

もう一つは、さっき言ったように、オンライン授業でお互いに勉強をする環境もつくっていく。実際に、今度バスで来た、あの子だ、あの子だとか、そういうことも出てくる。これが新しいGIGAスクールのいいところなんですね。こういうことができていくと。もう本当に目の前で一緒に授業ができる。これが、今考えているのが、そういうGIGAスクールによって、タブレットによって、もう本当に小規模校同士、小さな、二、三人じゃ多様な考え方とか出ませんよね。ところが、そういうものが何校か一緒につながって同じ授業をすれば、多様な考え方ができる。そういった授業もこれから考えていくし、お願いしているところなんですね。これを使いながら、もう会議だけじゃないです。そんなことじゃない。そういう授業にも使っていただきたい。そういうようなことを考えております。

○委員（茅田 香君） すいません。いいですか。

○町長（新川 久三君） はい、どうぞ。

○委員（茅田 香君） 今、C h r o m e b o o kの話が出たんですけど、不登校で学校にちょっと行けない、やっぱりあつて行けない子どもさんにも、C h r o m e b o o kを活用して出席とかにするような形はできるんですかね。

○指導主事（宮内 智久君） それはちょっと今日お話できませんでしたが、不登校の子どもたちには、これは貸し出すようにしてますし、現実問題として、実際、貸している子どももいます。ただ、それを出席とするかどうかはちょっと難しいんですけども、毎日、毎時間というわけにはいかないので、やっぱり週に1、2時間でもそういったこれを通じて子どもたちを顔を合わせて参加する。それとか、朝、開けて、不登校の子どもたち、生活が、時間帯が違いますので、朝これを開けて、先生、今日出席してますよということもできますですね。そういう中で、少しでも登校のきっかけになればということで、それは各校長先生方に今お願いしてます。言われるとおり、お願いしているところです。ただ、出席というのはちょっと、これは難しい。でも、登校のきっかけになるし、それから、コロナ禍で学級、例えば、濃厚接触者のお子さんは同じく2週間自宅待機というふうになっていきますので、いろいろな場面があるんですけど、そういう方もおられます。そういう子どもたちにも今、渡しています、家で勉強できるように。その環境があるかどうか、さっきありましたけれども、そういうW i — F iとかいう。もうとにかく貸す、持って帰ってもらうという形は取っています。

○委員（茅田 香君） 分かりました。

○町長（新川 久三君） いいですか。はい、折本さん。

○委員（折本 美佐子君） それもこれからだと思うんですけども、可能性として、これが、この学校ができる場所ですよ。候補になりそうな地域って、どこら辺になるとかいうのは、何か。

○町長（新川 久三君） いや、まだちょっとそこら辺は。

○委員（折本 美佐子君） 全くゼロなんですかね。これだと、椎田小と椎田中学校だから、当然椎田地区というか、ですよ。それも含めて、全部これからの総合教育会議、総合会議の中で。

○町長（新川 久三君） そうですね。一応事務局案が出来上がれば、皆さんに相談しながらということになるかと。

○教育長（久保 ひろみ君） この検討委員会は、この中にも載っていますけれども、大学の先生数名と、それから、地域の方とかを入れ込んだとこで協議をして、ある程度の形になれば、また総合教育会議にかけるという形になるかと思っておりますので、その時点で御意見をいただけたらというふうに思っております。

○指導主事（宮内 智久君） ちなみに、文科省が言っている通学路の距離というのは、小学校においては4キロメートル、中学校では6キロメートルになっております。ここの役場を中心に範囲を引いたときに、大体2キロから、遠くても3キロ以内ですね、役場から円を引くと。4キロ

になると、もうほぼ入ってしまうんですね。小原のどこまでやったっけ。学校まで入る。築城もかなり入ります、4キロであれば。ただ、実際は大体3キロぐらいで、まず間違いなく4キロの範囲には入ります。文科省が言う通学路という。

○町長（新川 久三君） 今回の分は、椎田中学と椎田小学校をたたき台にちょっと計画、見本を作ってみる。そしてちょっとどうだろうかというような形にたたき台を作っていこうかなと、一応国への申請はそういった感じです。また、築城の部分は、また別途考えないかんしですね。

○指導主事（宮内 智久君） あと、電源が大変なんですよ。これがG I G Aスクール構想で、やはりかなりの、それと、コンセントがないというのがありましたですね。

○町長（新川 久三君） 絵に描いた餅に終わらんようにせないかんということになります。いいですかね。

○委員（中村 ひろ子君） 大丈夫です。

○町長（新川 久三君） はい。

○委員（中村 ひろ子君） いや、この後の日程だとか、議員さんたちの検討委員会、協議会の詳細とか、こういうのがまだ決まってなくて、これから7月に向けてそういうのを決めていくんですかね。だから、総合教育会議の中では、これからの進捗状況を教えていただけるっていうことを今、確認をしておりました。

○町長（新川 久三君） 分かりました。委員さん決まりましたら、また皆さんに報告しますので、よろしくをお願いします。

○委員（中村 ひろ子君） お願いします。

○町長（新川 久三君） あとはいいですかね。何かほかの件は。いいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○町長（新川 久三君） じゃあ、一応閉じさしていただいていいですかね。

じゃあ、一応その他の件は閉じさしていただきたいと思います。

あとは返します。

○学校教育課長（野正 修司君） ありがとうございます。

意見交換が終わりましたので、何かその他、何かございましたら。よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○学校教育課長（野正 修司君） それでは、他にないようですので、令和3年度第1回築上町総合教育会議を閉会いたします。ありがとうございました。

午後4時47分閉会